

授業科目 学校栄養指導論Ⅱ(演習)

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	栄養
荒井富佐子		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】					
管理栄養士養成科目の「栄養教育論」、「栄養教育論実習」、「カウンセリング技法」等で学んだ基礎学習及び「学校栄養指導論Ⅰ」の講義内容をもとに、食に関する指導の技術を修得する。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】					
1. 児童生徒が抱える食生活及び栄養上の問題点の把握、指導案の作成・実施・評価法の技術を身につける。					
2. 効果的な指導教材を研究する。					
3. 児童・生徒の心理や発達段階、健康状態に配慮した個別的栄養指導の技術を身につける。					
4. 給食の時間、関連教科、特別活動等における栄養指導の技術を身につける。					
5. 家庭及び地域との連携を深め、より効果的な栄養指導について学ぶ。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO	
				番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1-3	個別栄養指導の準備（指導内容の検討、具体策、指導教材の準備、学級担任・養護教諭・学校医・保護者との連携法の検討等）：偏食、肥満傾向、痩身願望、食物アレルギー、生活習慣病を抱える児童・生徒に対する個別指導の方法を検討する。			1.2	グループまたは個別による演習
4-5	個別栄養指導の模擬演習			3.1	
6	個別栄養指導の評価			1	
7-10	集団栄養指導の準備（問題点の把握、他の教職員、保護者、地域等との連携法の検討、指導案の作成、指導教材の準備等）：給食の時間、関連教科（保健体育、家庭、理科、社会、道德等）、児童・生徒会活動、特別活動、（食に関わる学校行事、料理クラブ等）における栄養・食生活指導の方法を検討する。			1.2	
11-14	集団指導の模擬演習			4	
15	集団指導内容の評価、今後の課題の検討			1	
【使用図書】		＜書名＞ ＜著者名＞ ＜発行所＞ ＜発行年・価格・その他＞			
教科書		特に指定しない			
参考書					
その他の資料		必要に応じてプリントを配布			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況、個別・集団指導の模擬演習、レポートから総合的に評価する。		栄養教諭を目指して真面目に課題と取り組む。			